

2024年度（4月期生）新潟大学 履修証明プログラム

次世代対応医学物理士短期臨床研修コース

履修生募集要項

新潟大学大学院保健学研究科

内容

1. コースの目的.....	2
2. 履修証明プログラムについて.....	2
3. コースの概要.....	3
4. 募集要項.....	4

1. コースの目的

本コースは、主にごん診療拠点病院に勤務する医学物理士に対して高精度放射線治療における臨床業務上のスキルアップのための学び直しとキャリアアップの機会を提供し、ごん医療へ貢献する人材育成を行う事を目的とします。

近年、強度変調放射線治療（IMRT）等の高精度放射線治療の普及には目覚ましいものがあります。それに伴い、同治療に関わる医療者にも相応の高度なスキルが求められるようになってきました。特に医学物理士は治療計画や線量検証などの高精度放射線治療に特化した業務に携わることが多く、最新技術への対応を含むスキルアップの必要性が高い職種と言えます。

医学物理士が臨床上のスキルを身に着ける課程としては2年間の「次世代対応医学物理士レジデントコース」があり、新潟大学にも2015年に国内第2番目のコースとして開設※されました。その一方で、既に医学物理士の認定を持つ者が比較的短時間で効率よく高精度放射線治療に必要なスキルを身に着ける機会に対する需要も高いと思われませんが、全国的に見てもそのような機会は皆無に近いのが現状です。

以上を背景として、新潟大学では、平成28年10月より、病院に勤務する医学物理士認定者が履修可能な「医学物理士臨床研修インテンシブコース」を履修証明プログラムとして新たに開設し、高精度放射線治療における臨床業務上のスキルアップの機会を提供しています。（平成30年度から「次世代対応医学物理士短期臨床研修コース」に名称変更。）本コースでは放射線治療計画の立案と確認、線量検証業務についての臨床研修を行うとともに、同項目の理論的背景について深く理解するための講義も実施します。また、「IAEA医学物理レジデントガイドライン」に基づいた世界標準の尺度で到達度の評価を行います。

※：新潟大学次世代対応医学物理士レジデントコースは、医学物理臨床研修（レジデント）コースとして、筑波大学に次いで国内第2番目となる一般財団法人医学物理士認定機構の教育コース認定を取得しています。

2. 履修証明プログラムについて

履修証明プログラムは、主に本学の学生以外の者を対象とした体系的な知識、技術等の習得を目指して本学に設置される教育プログラムです。本学の学生も、本学の学生以外の者の履修を妨げない範囲において履修を許可する事ができます。プログラムの修了要件を満たした履修者にはその事実を証明する履修証明書（certificate）を交付します。

※本コースは一般財団法人医学物理士認定機構が認定する短期臨床研修教育コースの認定を取得済みです。（コードY，単位数：5）

【参考ホームページ】

文部科学省：大学等の履修証明制度について

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/

新潟大学における履修証明プログラムに関する規程

https://education.joureikun.jp/niigata_univ/act/content/content110000229.htm

3. コースの概要

本コースは臨床研修（110～130 時間）と講義（10 時間）で構成しています。臨床研修では、医学物理士が業務に携わる機会が多い高精度放射線治療（主に強度変調放射線治療：IMRT）の治療計画の立案と確認，線量検証業務についての臨床研修を実施します。講義では高精度放射線治療の治療計画法および線量検証法の原理や理論的背景について深く理解する事を目指します。

大項目	中項目	小項目	講師	時間		
臨床研修	高精度放射線治療 の治療計画	CT 画像取得，輪郭入力	海津 元樹	110 以内		
		ビーム設定，線量最適化	宇都宮 悟 棚邊 哲史			
		治療計画の評価	中野 永			
	高精度放射線治療 の線量検証	電離箱線量計を用いた線量検証	海津 元樹			
		フィルムおよび多次元検出器を用いた 線量検証	宇都宮 悟 棚邊 哲史			
		線量分布の解析	中野 永			
		判定基準の設定と評価・管理	早川 岳英 坂井 裕則			
	その他履修者が 特に修得を希望 する項目		海津 元樹 宇都宮 悟 棚邊 哲史 中野 永 早川 岳英		20 以内	
		小計				110 以上 130 以内

大項目	中項目	小項目	講師	時間
講義	高精度放射線治療の治療計画	強度変調放射線治療の基礎	海津 元樹	10
		線量最適化の手法	宇都宮 悟 棚邊 哲史	
		治療計画の評価法	中野 永	
	高精度放射線治療の線量検証	線量検証の意義および手順	海津 元樹	
		線量分布の解析法	宇都宮 悟 棚邊 哲史	
		判定基準の設定と評価・管理	中野 永 早川 岳英	
がんプロ e-learning cloud (がんゲノム医療, 小児・希少がん, 等)				
小計				10

4. 募集要項

(1) 募集人員 (2024 年度 4 月期生)

1 名

(2) 対象者・履修資格

- ① 医学物理士の認定を受けた者 (一般財団法人医学物理士認定機構認定)
- ② 本学において十分な履修時間を確保できる者
- ③ 病院の施設, 機器等に損害を与えた場合に対応できる損害保険に加入している者

(3) 履修時間・修了要件

① 履修期間

2024 年 4 月 1 日より原則 6 か月間とするが, やむを得ず下記の修了要件の履修時間を満たせない場合は延長を可能とする。

② 修了要件

臨床研修と講義の合計 120 時間以上の履修と, 各中項目に実施される口頭試験に全て合格することを修了要件とします。必要に応じてレポートによる評価を実施することがあります。

(4) 履修申請

① 申請書類等

履修希望届, 履修希望理由書及び活動実績, 医学物理士認定証 (写), 損害保険の補償内容が分かる書類の写し

② 申請期間

2024年2月5日（月）から2024年2月16日（金）17時まで（必着）

③ 申請書類等の提出方法・提出先

申請書類等を封筒に入れ、必ず書留郵便にて下記の提出先に送付してください。

〒951-8518

新潟県新潟市中央区旭町通2番町746

新潟大学医学部保健学科学務係

（TEL: 025-227-2357）

④ 注意事項

ア 申請書類の提出は、書留郵便に限ります。封筒には「履修証明プログラム申請書類 在中」と朱書きしてください。

イ 申請書類に不備がある場合は受理しないことがあります。

ウ 申請書類提出後は申請書類の返却及び「連絡先」以外の記載事項の変更は認めません。

エ 申請書類に虚偽の記載内容があった場合には、履修開始後でも履修許可を取り消すことがあります。

オ 障がい等を有する本プログラム履修希望者で、履修上特別の配慮を必要とする場合は、申請期間前に新潟大学医学部保健学科学務係（TEL: 025-227-2357）に申し出てください。

(5) 履修生選考及び選考結果の通知について

本コースの履修生は提出された申請内容等を審査した上で決定します。

2024年3月中旬に選考結果を通知します。選考に関する電話等による問い合わせには一切応じません。

なお、本コースの具体的な履修日程については、選考結果通知後、本プログラム担当教員より連絡の上、調整することとします。

(6) 履修手続について

① 手続日時

履修手続書類等送付時にお知らせします。

② 履修証明プログラム受講料

132,000円（「新潟大学における履修証明プログラムに関する規程」及び「新潟大学授業料その他の費用に関する規程」に基づく。）

※1 履修手続の際に一括で納入していただきます。納入方法等詳細につきまして

は、履修書類送付時にお知らせします。

※2 上記受講料は、研修時間が120時間の場合の受講料です。研修内容等により120時間を超える場合があります。超過した時間については、追加で受講料を徴収する場合がありますのでご了承ください。

③ 勤務先所属長の承諾

履修証明プログラムの受講にあたり、勤務先所属長からの承諾書（所定様式）を提出していただきます。

(7) 個人情報保護について

申請においてお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については履修生選考、選考結果、履修手続及び履修生の管理業務等、これらに付随する業務を行うためのみに本学において使用します。

また、取得した個人情報は適切に管理し、使用目的以外には使用しません。

(8) その他

① 履修生の身分について

本コースは社会人など学生以外の者を対象として開設するものであり、大学に学生として在籍し、所定の単位を取得して学位を取得するための学位課程とは異なり、新潟大学学生としての身分は付与されませんので、予めご留意願います。

② 履修生に対する注意事項

ア 履修生として知り得た秘密を漏らすことは禁止します。履修終了後も同様とします。

イ 臨床研修中及び講義中の写真撮影（SNS等への使用等）は禁止とします。

問い合わせ先

〒951-8518

新潟県新潟市中央区旭町通2番町746

新潟大学医学部保健学科学務係

TEL: 025-227-2357 FAX: 025-227-0716

E-mail: gaku1@clg.niigata-u.ac.jp

URL: <https://www.clg.niigata-u.ac.jp/>